

第1回 毛呂山町



ビジネスコンテスト結果

地域課題をビジネスによって解決するためのアイデアを持つ事業者を広く募集し、若者が「使いたい」、「働きたい」と思えるビジネスを毛呂山町につくることを目的として「毛呂山町ビジネスコンテスト」が開催されました。

8月24日に一次審査が行われ、各提案者がプレゼンを行い、大学生を中心とした30歳以下の若者や毛呂山町長、経済産業省職員などによる審査が行われました。当日は、城西大学の協力のもと開催され、コンテストの進行や演出などを学生たちが行いました。

8月30日には二次審査が行われ、各提案者のプレゼン後、出資、補助金額の決定等が行われました。採択者へのサポートとして、一般枠の出資金は、ふるさと納税寄附額の一部を活用し、チャレンジ枠の補助金は、国の地方創生推進交付金を活用します。

主催・問合せ 株式会社もろやま創成舎（役場205会議室）

☎050-3204-0415 ✉info@souseisha.biz

ビジネスコンテストの流れ

エントリー (6/1~7/30)



事務局審査 (8月上旬)

スマートシティ協議会において、提案者の応募資格要件等の確認を行う。



一次審査 (8/24)

提案者が提案内容の発表を行い、審査員による得点審査を行う。

※参加者は募集の趣旨を鑑み、30歳以下に限定。



二次審査 (8/30)

スマートシティ協議会構成員により事業性等の審査を行い、出資、補助金額等を決定する。

募集部門

一般枠

- ・すでに会社（株式会社）を立ち上げている人向け
- ・金融機関等から比較的大規模な資金調達を予定している事業へ出資の形でサポート

～採択者へのサポート～

★出資金総額 230万円

株式会社もろやま創成舎から議決権のない株式の形で出資

チャレンジ枠

- ・個人も含め、今すぐ事業を実施したいという人向け
- ・事業に必要な設備などを補助金の形でサポート

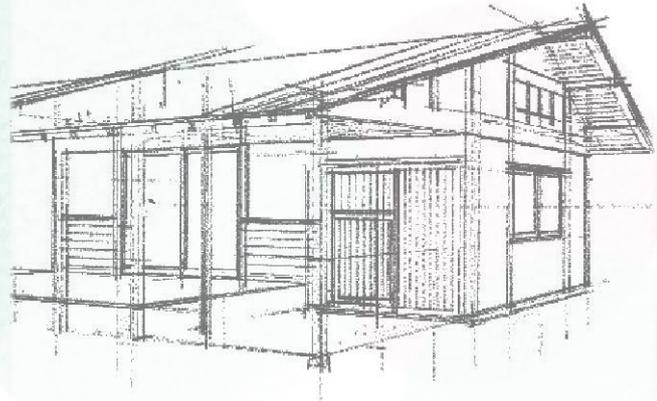
～採択者へのサポート～

★補助金総額 1,000万円

補助率100%、上限500万円の範囲で希望金額を提示



毛呂山産木材使用石場建てによる オフィス兼モデルルーム



企画概要

伝統工法「※石場建て」によるオフィスをも呂山産の西川材で建築し、町内産木材の普及活動を行う。今後は、「伝統技術による新築住宅の建築」、「伝統技術による古民家の改修」、「パイオ乾燥した地元産の木材の提供」等を行っていく。

※礎石の上に柱が載っているだけの構造で、建物全体の重さで安定させる。地震や台風の応力を分散させる柔構造。



有限会社斎藤材木店

町内の老舗材木店。最近では治山活動にも力を入れている。

当町には治山活動の停滞という課題があるが、町内産木材が市場に流通することで、人工林のメンテナンスが進み、土砂災害の予防につながる。そして、この事業を進めていくことで、伝統技術の継承と雇用の創出につながり、若年層の流出という課題の解決にも役立つ。

創成舎社長が語る
「ここがポイント！」

ポランティアが前提だった治山活動に経済的な価値を付与する点がポイントです。稼ぎながら中長期的な災害リスクを低減し、毛呂山町の持続可能性を向上させるといふSDGsの視点に立った企画です。



もろやま創成舎
笠原喜雄社長

毛呂山町へ与える変化

キッチンカー・試食移動販売車

無添加ハンバーガーや無添加ソーセージを商品化



企画概要

キッチンカーで、弊社製造販売している無添加ベーコン、無添加ハムの作り方をベースにした無添加ハンバーガー、無添加ホットドッグを販売する。販売場所は、毛呂山周辺商業施設や空きスペース、地域で開催されるオーガニックイベントなど。また、試食移動販売車で、弊社ベーコンを使った料理を試食として提供し、商品の販売につなげる。販売場所は町内ゴルフ場駐車場など。



株式会社はたおと

町内で機織教室や無添加ベーコン製造を行う。

この企画のポイントは「移動」という点につきまます。町内はもちろん日本全国を商圏とすることができます。この事業は、毛呂山町の魅力を全国に発信できるという可能性を秘めています。

創成舎社長が語る
「ここがポイント！」

移動できるキッチンカーが駅周辺や商店街のスペースで展開できることで、現在、空き店舗となっている周囲にも人の流れができ、店舗再開等の活性化が期待される。また、移動販売車では、試食していただいた人にふるさと納税の冊子を配ることで、ふるさと納税に誘導することができる。



もろやま創成舎
笠原喜雄社長

毛呂山町へ与える変化

空

き店舗を活用した

空間提供型EV車充電サービス



企画概要

空き店舗を活用し、「空間提供型EV車（電気自動車）充電サービス」を作る。ここには、今後利用者の増大が予想されるEV車の充電設備を完備し、充電時間の空き時間を利用して、共有オフィスの利用や、軽飲食の提供、充電時間中に洗車やコーティングなどの既存事業のサービスを受けることができる。また、共有オフィスは完全個室スペースとし、プライベートを尊重した空間を提供する。

毛呂山町へ与える変化

EVの充電時間を有意義に過ごせるサービスを併設することで、テレワーク等を行うビジネスパーソンを中心とした町外からの人の流れを生むことができる。そして、老若男女、人が集まる場所ができることにより、地域でお金の循環が生まれる。また、多様な働き方が創出され、雇用の創出につながる。

創成舎社長が語る ここがポイント！

企画のポイントとは、サービスを使用する人たちが新たなビジネスを生み出す可能性を秘めているという点です。人と人の接点となる場所が増えることで、毛呂山町の変革が進むかもしれませんね。



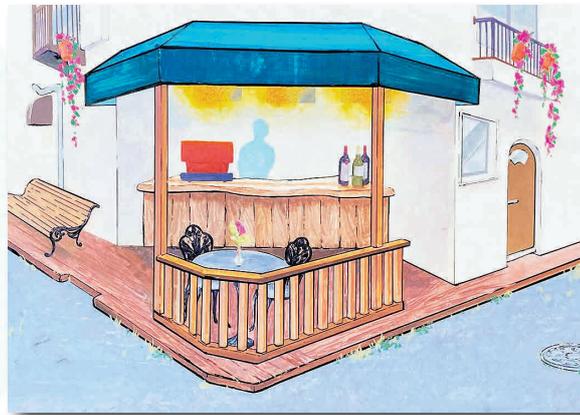
株式会社トライアングル

川越市で自動車に関するトータルサービスを行う。

オー

ガニックや無添加にこだわった

自然派志向のカフェ



企画概要

武州長瀬駅北口からすぐの場所で、空き店舗を活用し、オーガニックや無添加にこだわった自然派志向のカフェを開業する。そして、自ら農家として育てた自家産の野菜やハーブ、仲間の有機農家の野菜を使った料理を提供する。また、基本はテイクアウト形式で、風通しの良いイートスペースも設置することで、感染症対策も整え、安心してくつろげる空間を提供する。

毛呂山町へ与える変化

この事業は、事業の延長として近隣の空き家、空き店舗を改装して複合的な場所を作っていく、空き家、空き店舗の解消につながる。そして、小川町での活動からすでに町をまたいだ関係コミュニティがあるので、そのまま毛呂山町にも持ってこられる期待があり、関係人口の増加につながる。

創成舎社長が語る ここがポイント！

他の店舗や地域の公園の存在まで見据えた視野の広さがポイントです。田中さんの事業が始まることで、エリア全体という「面」におけるまちづくりが加速することを期待したいですね。



田中 慎太郎さん

小川町で有機農法で自家栽培した野菜などを用いたカフェを経営。



地

**域初の敷布団まで洗える
ランドリー店**



企画概要

敷布団をはじめ、寝具を丸ごと洗える24時間営業のコインランドリーを作る。
常勤スタッフによって、来店時の機械操作やご利用方法などお客様の不安や疑問を解消する。また、持ち込まれた寝具は、その日のうちに乾燥まで仕上げ、寝具まとも洗い、1枚千円台で利用できる「安さ」を提供。そして、カフェや整体やネイルなどの健康美容を付加したサービスも行う。

毛呂山町へ与える変化

母親として「少しでもアレルギーの原因になるものから子どもを守りたい」という思いから生まれたもので、待ち時間に「健康美容」をサービスとして加えることで、子育て中の女性を応援できる。これにより、子育て世代の満足度や住みやすさが向上し、人口減少にブレーキをかけることにつながる。

**創成舎社長が語る
「ここがポイント！」**



これまで毛呂山町にありそうではなかった「子育て世代向けのサービス」という点がポイントです。特に女性が生き生きとして暮らせるためのサービスは、町の持続性を確実に向上させます。



合同会社Happy Synergy

さいたま市を拠点とし、本事業の実施を中心とした事業を行うため設立

第1回毛呂山町ビジネス

コンテスト結果および講評

結果

コンテストの一次審査は、審査結果70点を超えると、通過となりますが、今回は5つ全ての事業が70点を超えたため、全事業一次審査通過という結果になりました。
二次審査では、各提案者からの補助・出資希望額を受け、それに対する採択、未採択を検討しました。審査結果は左記のとおりです。
※一般枠に関しては、230万円の出資。チャレンジ枠に関しては、補助率100%、上限500万円の範囲で補助。採択された事業の希望補助金の総額が補助金総額を超える場合は、各事業の希望補助金額の割合から、一千万円に収まるように調整し、補助金額を決定。

	提案者	出資・補助金
チャレンジ枠	田中慎太郎	2,564,103円
	株式会社はたおと	3,162,393円
	有限会社斎藤材木店	4,273,504円
	合同会社Happy Synergy	—
一般枠	株式会社トライアングル	2,300,000円

講評

今回のコンテストでは、今後の毛呂山町の未来を変えてくれそうな斬新でおもしろい事業がたくさん提案されました。それらの事業に対し審査員からは、「全国展開し、エーンに負けないビジネスであってほしい」、「複数のビジネスをひとつにまとめることで、経費の圧縮や集客効率の向上などの相乗効果が生まれるのではないか」等の意見がありました。

また、各事業が進むにあたり、治山活動の停滞の解決、雇用の創出、店舗再開、空き店舗の減少、関係人口の増加、ふるさと納税の増加、人口減少の解決など、町が抱える課題の解決につながっていくことが期待できます。

今回提案されたそれぞれの事業が、今後の毛呂山町の未来を明るく照らす光のひとつとなってほしいと思います。
ビジネスコンテストは今後も開催していく予定です。興味のある人はぜひ、もろやま創成舎へご連絡ください！